

日本女性会議 '98あまがさき 分科会8 (女性とメディア) 公開講座

メディアを私たちのものにするために・その1

## コミュニティー放送で何ができるか

マス・メディアは私たちの暮らしに多大な影響力を及ぼしています。そのようなメディアに対して、批評的に読み解く能力を高める一方で、メディアの中に女性や市民の視点を入れていくことが求められています。本年10月22日、23日の両日、尼崎市で行われる日本女性会議の「女性とメディア」の分科会では、全国各地のメディア・ウォッチグループを招いて、メディアの作り手や送り手に対する働きかけについての経験を交流すると同時に、私たち自身が発信者になる可能性についても語り合っていきます。

その分科会の一環として、「メディアを私たちのものにするために」と題した連続講座（公開講座とスタジオ見学）を3回にわたって行います。

まず、第1回目は、コミュニティー放送に関する学習会です。兵庫県下のケーブルテレビに関する調査報告をまとめた山根木さんと阪神・淡路大震災時、地元によく住む外国人被災者の救援に大きな役割を果たしたFMわいわい（神戸市長田区）の吉富さんをお招きして、「コミュニティー放送で何ができるか」を話し合うなかで、「市民に開かれたメディア」の可能性について探っていきます。

日頃マス・メディアに対して疑問や不満をもっている方々の多数のご参加をお待ちします。

【お話①】 コミュニティーチャンネルが果たす役割

神戸新聞情報科学研究所研究員 山根木夕紀さん

【お話②】 コミュニティーFMの可能性—FMわいわいの場合

FMわいわい/多文化共生センター・神戸 吉富志津代さん

【日時】 : 6月15日(月) 午後6時~8時30分

【場所】 : 尼崎市女性センター・トレピエ 2階 学習室2

(阪急武庫之荘駅下車・真っ直ぐ南へ徒歩3分 ☎06-436-6331)

【参加費】 : 無 料

【お問い合わせ先】 : 日本女性会議 '98あまがさき 分科会8 (女性とメディア)

(☎06-499-1274 吉田清彦)

尼崎市女性団体協議会 後援

なお、2回目は7月17日(金) 午後4時から尼崎ケーブルテレビ(チャンネルウェーブあまがさき)とFMあまがさき(FMaiai)のスタジオ見学、

3回目は9月6日(日) 午後1時半から東邦学園短期大学教授の津田正夫さんをお招きして、アメリカの「パブリック・アクセス・チャンネル」の現状をお聞きする予定にしています。

また、分科会8(女性とメディア)では、一緒に分科会を準備する仲間を只今募集中です。

お問い合わせ、お申し込みは、上記までお気軽に、どうぞ。